



(左から) 営業部・石田 安梨沙さん/管理部・湯澤 まゆさん/経営本部・保坂 沙央里さん

今や女性が男性以上に活躍する時代!?

今や女性は男性より仕事ができる時代!... などと言われているが、まだまだ男性の多い社会、女性の進出しづらい業界も多い。そんな中、なんと倉庫業界で女性が活躍しているという噂を聞きつけ、早速取材に向かうことに。お話を伺ったのは、株式会社ダイワコーポレーション女性社員の皆様。お会いした瞬間、我々は目を疑った。倉庫業界のイメージを覆す、華やかな方はかりだったから「うーん、まばゆい!」

入社前は、暗くて地味な業界だと思っていて、と語ってくれたのは管理部の湯澤さん。

「派遣のアルバイトで倉庫作業をしたことがあったので、その地味なイメージをずっと

筋骨隆々だと思ってました・・・。

まさか!? 倉庫業界で女性が活躍の件。

CHECK!

知られざる事実の炙り出し



私物をチェックさせてもらいました! リップやハンドクリームなど、かわいくていい香りのもの多数! チョッパーの入れ物にはリフレッシュ用のガムが入っているそう。集中してやりきるために、休憩時の癒しグッズは欠かせないんですね!

「とにかくルーティン作業はゼロです。社員の名刺作成から勤怠管理、辞令の作成、お歳暮を送ったり、最近ではフェイスブック更新まで・・・とにかく何でもやります。部署によって違うものの、出荷指示を現場に伝えることや、倉庫の応援、役所へ提出する書類や営業資料作成など、彼女たちの仕事領域は果てなく広そうだ。

自分から調べて学ぶ、「攻め」の気持ちが大切なんです。

なるほど、イメージするような地味な作業では全くなく、かなり幅広い仕事をされているよう。しかも、彼女たちが自発的に気づき、活躍の場を広げていく「攻め」の姿勢が大切なようだ。中には大量の荷物の配送先倉庫の判断を下したり、倉庫現場でフォークリフトを乗りこなす女性社員もいるとか。男性顔負けの仕事ぶり、彼女たちの姿からは想像できない...

普段活躍する女性が羽を伸ばせるようにと、社員旅行での女性のお酌は一切禁止、という風習もあり、代わりにコンパニオンを雇うという徹底ぶりは驚きだ。

この記事の取材協力企業



取材に協力頂いたのは、株式会社ダイワコーポレーション様

HONTO DAS! 編集部より企業紹介
 自社の倉庫に空きがない場合、全国規模のネットワークを駆使して他社の倉庫でも探し出す、「倉庫のサブリース」を広めた先駆者。固定概念にとらわれないその姿勢で、常に業界をリードされています。

株式会社ダイワコーポレーション
 [設立] 1951年 [代表] 曾根和光 [資本金] 9億円 [住所] 東京都品川区南大井6-17-14
 [事業内容] 普通倉庫業・倉庫施設等の賃貸業 ビル賃貸業・自動車運送取扱事業・その他
 選考希望者はこちらからメールで応募 ▶



結婚してもこの会社に携わっていたいと心変わりしたとか。

「前職の時、昔からずっとやっていたダンスを辞めてしまっ、それがすごくストレスでした。でもダイワに転職してからは自分の時間を大切にしながら一杯仕事ができるので、それが一番嬉しいですね。」と笑顔で語ってくれたのは、経営本部の保坂さん。やるべきことを責任持ってやり遂げ、早く帰るような社風だそう、彼女たちはプライベートも充実しているよう。「無駄に買い物しなかったり、ネイルできるのも最高です笑」と、語る彼女の指先はバステルカラーのネイルがキラリと光っていた。バリバリ仕事をこなしながらも、自分の時間をしっかり楽しみ、輝いている彼女たちをみると、今後の女性の働き方を考えさせられる。結婚や出産など人生の分岐点が多い女性だからこそ、いかにワーク・ライフ・バランスを実現できるかが大切な一つの基準なのかもしれない。

学生インタビューから一言!

三人の女性社員の方にお話を伺って感じたのは、一人の人に対して与えられる裁量が大きいことはすごく魅力的だ、ということです。また、始めに倉庫業と聞いた時にすごく地味な印象を受けたのですが、どの方もすごく華やかで、皆様が「自分」を持っている素敵でした! 仕事をこなすだけでなく、プライベートも充実されていて、私も仕事とプライベートの両方を楽しめる社会人になりたいと思いました。



立教大学 堀塚子さん (右)
 日本女子大学 茶木麻苗美さん (左)